

(様式 2)

議事録番号

提出 2023 年 10 月 27 日

会合議事録

研究会名: 固体分光研究会

日 時: 2023 年 9 月 26 日 18:30-20:00

場 所: 大阪大学基礎工学部 B102 教室、Zoom(ハイブリッド開催)

出席者: (議事録記載者に下線) 五十音順、敬称略

池本 夕佳(JASRI)、今田 真(立命館大)、大河内 拓雄(JASRI)、河村 直己(JASRI)、
島田 武司(プロテリアル)、菅 滋正(阪大産研)、関山 明(阪大基礎工)、高木 康多
(JASRI)、高見 大地(阪大工)、西原 克浩(日本製鉄)、野平 博司(東京都市大)、濱
本 諭(RIKEN)、藤原 秀紀(阪大基礎工)、三村 功次郎(大阪公立大)、保井 晃
(JASRI)、山神 光平(JASRI)

計 16 名

趣旨・議題: 固体分光分野の発展を目指してユーザーと施設の間で議論し、ユーザー側の要望をまとめる。

議事内容: 以下のプログラムに沿って、講演・議論が行われた。

プログラム:

座長: 今田 真(立命館大)

- ・ 「共用 HAXPES ビームラインの近況」
保井 晃(JASRI)
- ・ 「軟 X 線ビームラインの現状」
山神 光平(JASRI)
- ・ 総括
関山 明(阪大基礎工、研究会代表)

保井晃(JASRI)から「共用 HAXPES ビームラインの近況」のタイトルで講演があった。その中で、2021 年度に実施された BL09XU アップグレード後のビームラインスペック、および、利用状況と、2023 年に実施された BL46XU のアップグレードについて報告があった。液体ヘリウム供給の不安定性を払拭するために、BL09XU の実験ハッチ1にヘリウム再凝縮装置が導入されることが報告された。

講演後の質疑応答では、BL09XU、および、BL46XU 装置に関する質問とともに、液体ヘリウム再凝縮装置導入後の液体ヘリウム使用料について質問がなされた。導入後のヘリウム使用料は現状では決定していないとの回答があった。

山神光平(JASRI)から「軟 X 線ビームラインの現状」というタイトルで講演があった。BL25SU のビームライン、および、BL25SU の A ブランチに設置されている μ -ARPES 装置の概要が紹介された。また、現状、軟 X 線ビームラインではビームラインスタッフ不足していることから、人事公募に頼るだけでなく、JASRI の学生受け入れ制度(研究生など)を利用して将来ビームラインスタッフとなる人材の発掘を行っていることが紹介された。

講演後の質疑応答では、JASRI の学生受け入れ制度に関する質問とともに、BL25SU に設置されている液体ヘリウム再凝縮装置の運用に関する質問がなされた。現状では実験で余ったヘリウムの蒸発を防ぐために利用されているが、実験で使ったヘリウムを回収することを検討しているとのことであった。

最後に、関山明代表から総括があった。施設への要望については、本研究会で得られた意見とともに、別途、研究会員に向けてアンケートを行い得られた意見をまとめることで作成するとのことであった。

以上